

令和7年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 静岡県

農業委員会名： 浜松市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和7年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和6年7月1日

任期満了年月日 令和9年6月30日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	24	24
認定農業者	—	13
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	4
40代以下	—	0
中立委員	—	3

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	37	37	37

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	10,042
農業経営体数	5,304

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	8,310
女性	3,806
40代以下	776

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	1,042
基本構想水準到達者	1,985
認定新規就農者	59
農業参入法人	194
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	2,460	9,090				11,500

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)/(A)
	11,500 ha	4,675.0 ha	40.7 %
課題	農業経営に適した優良農地が不足している。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和12年度	集積率	80 %
今年度の新規集積面積	35 ha	農地面積(C)	11,500 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	4,710 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)/(C)	41.0 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	731 ha	731 ha	0 ha
課題	農業者以外への農地の相続や細分化、また、時給自作耕作者のリタイアにより集落内の狭小な農地や山間部の生産性の極めて低い農地など条件の悪い農地の耕作放棄地化が進んでいる。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	688 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	138 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0 ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	対象地なし

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	72 ha
---------------------------	-------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	R4年度新規参入者		R5年度新規参入者		R6年度新規参入者	
	49	経営体	113	経営体	159	経営体
	21.7	ha	24.3	ha	30.6	ha
課題	将来に向けて効率的かつ安定的な農業経営による持続的な発展を目指すためには、①認定農業者数及び認定新規就農者数の増加、②農業後継者(親元就農)への支援、③法人化支援等の取組を通じた経営基盤の強化が必要である。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均	
	301	ha	369	ha	486	ha	385	ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積					38.5	ha		

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。))及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	9	日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	20	人
			農地利用最適化推進委員の人数	37	人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の内容
5月	遊休農地の解消	春のいっせい草刈り旬間に向けて地域での声掛け
9月	遊休農地の解消	秋のいっせい草刈り旬間に向けて地域での声掛け
10月～3月	農地の集積	「地域計画」に基づく各地域の農地集積事業への協力

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1	回
---------------	---	---

開催時期	随時	相談会名	合同就農相談会
参加者数	1	開催場所	市役所又は区役所
相談会の内容	市、県西部農林事務所、JA等の担当者が集まり、新規就農希望者が就農するために必要な技術の習得、農地等の確保への助言		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)